



# コーポレートガバナンス

MAEDAグループ全体の企業価値を持続的に高めていくためには、内部統制機能の充実、リスクマネジメントの実効性向上、CSR・コンプライアンス体制の拡充、情報セキュリティの強化などが必要不可欠です。経営の効率性、健全性、ならびに透明性の向上をめざし、継続的に改善を進めています。

## 体制と内部統制

### 体制

当社は、事業活動に対する説明責任や経営の効率性、健全性、透明性の向上をめざし、経営体制を整備しています。執行役員制度の導入、取締役任期の1年への短縮、ガバナンス強化として社外取締役2名の選任(全取締役13名)、チェック機能強化として社外監査役3名を選任しています。社外取締役・社外監査役の取締役会への出席率は100%でした。また、社長、担当役員、社外有識者(弁護士・会計士)によって構成される「有識者委員会」を設置し、月次開催しています。

### 内部統制

#### ●内部統制システムの運用

内部統制を徹底するため、内部統制システムの基本方針を明確にし、社長を議長とした経営層による「CSR戦略会議」「リスク管理委員会」、執行部門から独立して監査を行う「総合監査部」を設置するなど、内部統制システムの実効性を高めています。

#### ●内部通報窓口(企業行動ヘルプライン・ホットライン)

内部通報制度は、不正行為などの早期発見と是正、社内の法令遵守・倫理の確保および向上を図る上で非常に大切なしくみです。当社では社内窓口に加え、取引先などの社外からの通報(匿名を含む)窓口を、当社ホームページに設置しています。

#### ●反社会的勢力の排除

当社では、反社会的勢力との関係遮断についても、内部統制の一環として取り組んでいます。企業行動憲章においても同事項を規定し、社員研修の場で教育および周知・徹底を図っています。

## リスクマネジメント

### 全社対象のリスク管理体制

リスク管理委員会は、「MAEDAリスク管理方針」「リスク管理規程」に基づき、「MAEDA企業行動憲章」を阻害するリスクを適切に管理しています。総合監査部がリスク評価に基づく監査を実施し、関係部門への提言を行い改善につなげるなど、内部統制の強化を図っています。2012年度の監査は本店全部門、全支店、国内外の22作業所、グループ会社2社で行いました。また、監査に際しては監査役および会計監査人と緊密な情報・意見交換を適時行い、監査の実効性を高めることに努めています。

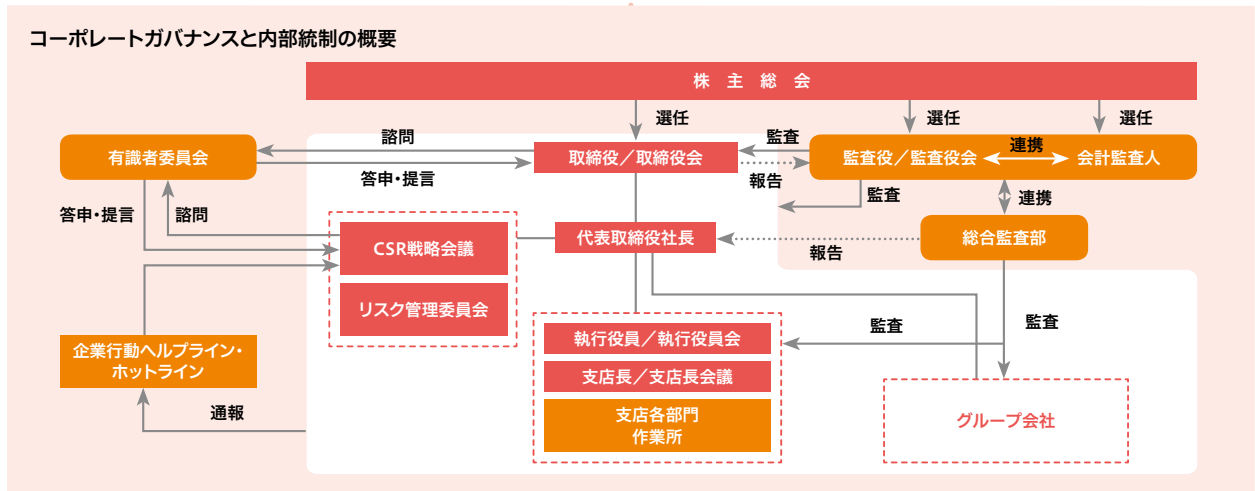
### BCP(事業継続計画)

当社は2006年7月、関連会社である東洋建設(株)・前田道路(株)と連携して事業継続を行う体制を整備し、BCPの大綱を策定しました。得意分野の異なる3社が連携することで、災害発生時に各社のお客さまや地域住民への復旧支援、災害対応業務復旧を迅速に、幅広く実施できる体制を構築しています。

2013年3月、発生が懸念されている東海・東南海・南海の連動型地震を想定した第4回BCP訓練を実施しました。

今回の訓練では、帰宅困難対応などの新たな訓練項目を追加し、初動対応や各拠点との情報交換体制の確認に加え、帰宅要請を指示された場合の対応などを実施しました。安全な帰宅経路の事前把握や帰宅ルールについての周知とあわせ、実際の徒歩帰宅訓練も実施しました。

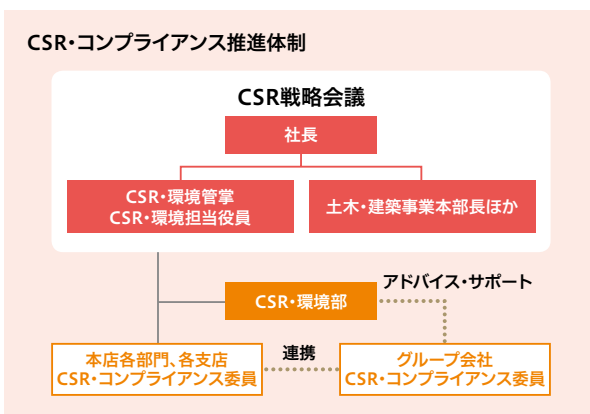
平日の午後に実施することにより本店、国内全支店・作業所、関係会社および協力会社など、これまで以上に多くの人数で全社的な訓練となりました。協力会社を含めた当社グループの全員が、地震発生時の初動対応を確認するとともに、新たな訓練項目についてもルールの共有を行いました。



## CSR・コンプライアンス

### 体制

MAEDAグループ各社は、企業行動憲章を制定、CSR・コンプライアンス体制を構築し、連携しながら活動推進に努めています。CSR・コンプライアンス活動の推進にあたり、本店各部門や各支店、グループ会社に「CSR・コンプライアンス委員」を配置しています。任命された委員は、社長・支店長・本店部門長を補佐し、CSR・コンプライアンスに関する諸活動を広く深く根づかせるために、各職場において全社施策の周知・徹底を図るとともに、教育、法令遵守、地域社会貢献活動を推進しています。



### 教育および啓発

当社および役職員が果たすべき社会的な役割・責任を明確にした「MAEDA企業行動憲章」、「MAEDA行動規範」、「MAEDA倫理要綱」や各方針を、「MAEDA経営規範」と題した携帯用小冊子にまとめ、全社員に配布しています。また、階層別教育時（1・3・5年次）などにCSR・コンプライアンス研修を実施することにより、継続的に全社員が受講できる体制にしています。

### アンケートの実施と結果

MAEDAグループのCSR・コンプライアンスに関する理解度および浸透度の把握を目的に、アンケートを2009年度から年1回実施しています。これまでは「MAEDA企業行動憲章」や外部団体の評価項目から設定した質問について、「理念」「意識」「体制」「行動」の評価軸で分析していました。2012年度（第4回目）からは、これまでの分析に加え、当社の「ステークホルダーの皆さまへの誓い」の4項目を評価軸とした分析も実施しました。

アンケートは、社員の理解度を知るとともに、社員の意識を向上させる機会であるため、今後の教育プログラムや周知活動に活用することを考えながら、今後も継続して実施します。

### 入札談合防止に対する取り組み

MAEDA入札談合防止方針と入札談合防止規程を定め、談合防止体制を整備しています。この方針では情報の入手や管理、同業他社との接触の制限、自主的な入札参加、入札手続書類の保管などに関して、透明性確保の具体的な方針を示しています。また、全国の営業担当者などに独占禁止法の講習会を実施し、2012年度は325人の社員が受講しました。

## 情報セキュリティ

### 個人情報を含むお客様情報・社内情報の安全確保

当社は、情報の取り扱いは施工安全管理と同様の重要事項と捉え、「情報セキュリティ」の同義語として「情報安全」を定義し、情報安全管理を適切に実施しています。

#### ●情報を守り活用するためのしくみ

「MAEDA情報セキュリティ方針」「情報安全管理規程」などの規定を整備し、情報安全を管理しています。

#### ●しくみの運用と実施

実施状況の点検結果や、情報セキュリティマネジメントシステム認証取得（ISO/IEC 27001）部署の運用実績などをしくみの見直しに反映しています。2012年度に実施した主なしくみの見直し、周知の向上、点検、管理について以下に示します。

#### ①スマートフォンやタブレット端末の活用

施工管理とお客さまへの情報提供の向上を目的としたスマートフォンやタブレット端末を安全かつ安心して活用するための規定の制定と、管理ツールや仕様・体制を確立しました。

#### ②情報安全キャラバン、情報安全月間の実施

しくみの周知と情報安全に関する事件・事故からの学びと弱点への“気づき”をねらいとして情報安全キャラバンを実施しました。また、政府の情報セキュリティ月間に合わせた情報安全月間を設け、自ら考えて積極的に行動することを促進しました。

#### ③自己確認、情報安全パトロール、第三者診断

2008年度から実施している社長宛の「情報安全自己確認書」は、リスク認識強化のための自己診断問題と回答に選択肢を持たせた確認項目の構成で実施し、全対象者が提出しました。また、支店と現場、関連会社を対象に情報安全パトロールを実施しています。さらに、専門業者による社外からの攻撃と内部からの攻撃を想定したネットワークおよびWebアプリケーションの脆弱性診断を実施しました。

#### ④パソコンなどの管理

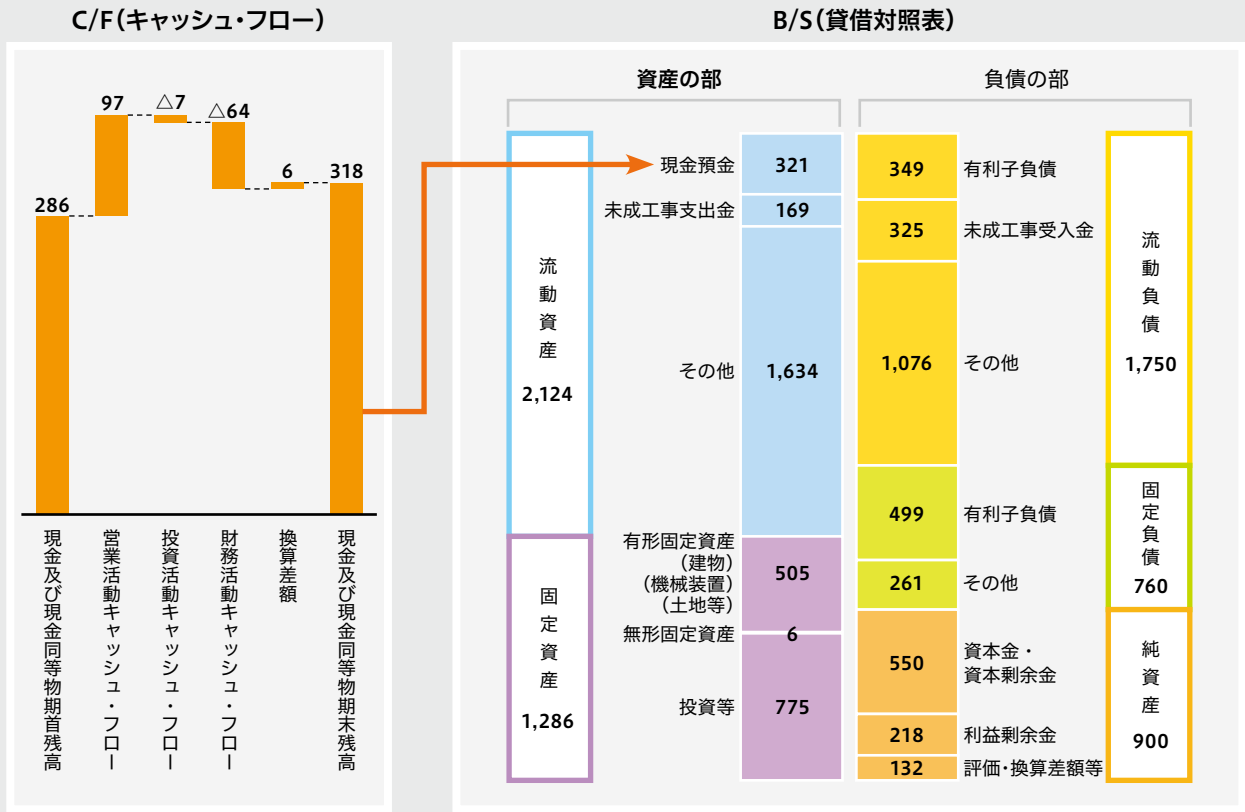
私有機器の利用禁止はもとより、モバイル機器の暗号化機能の採用やコンピュータウイルスの侵入検知結果およびPC管理ソフトの活用で制御と監視などを行い、不具合への早期対処ならびに未然防止を行っています。



# コーポレートレポート(経済的価値創造・配分フロー)

当社の2012年度の経済的価値創造・配分フローを報告します。  
 事業活動を行うことにより、社会に対してどのような価値を創出し、  
 生み出した付加価値をステークホルダーの皆さまにどのように配分したのか、を示します。

財務諸表(単位:億円)



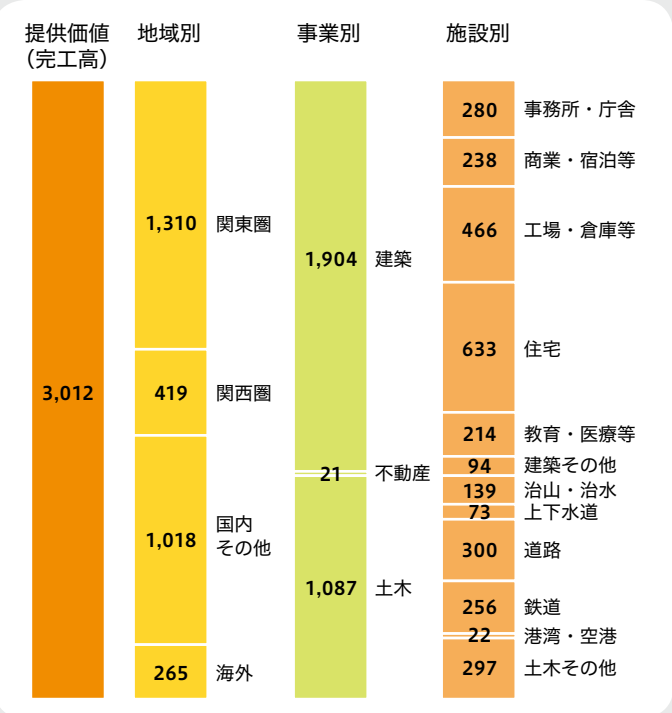
### 投入資源(⇒P.31)

延労働人員 <sup>(※1)</sup>	4,043千人
総エネルギー投入量(原油換算)	
施工部門 <sup>(※1)</sup>	25,203kl
オフィス部門	1,337kl
計	26,540kl

### 排出量(⇒P.32)

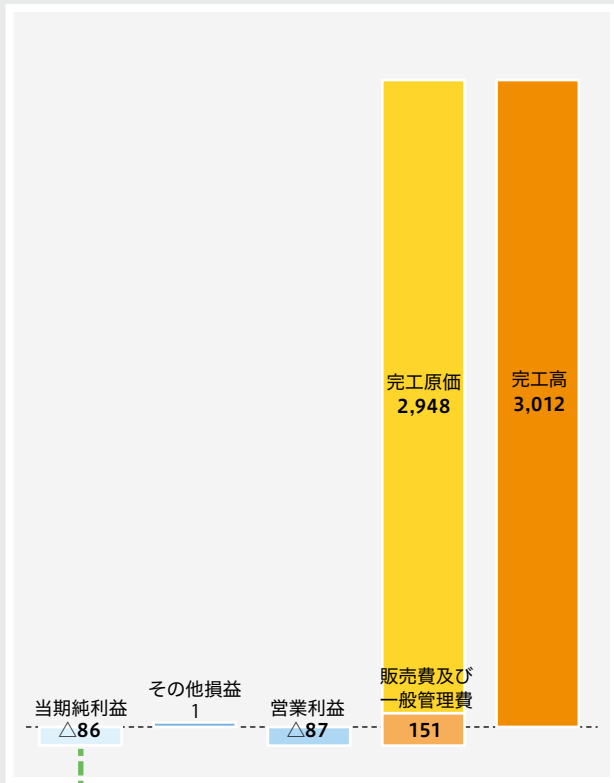
CO <sub>2</sub> 排出量	
施工部門 <sup>(※1)</sup>	80,231t
オフィス部門	2,371t
計	82,602t
廃棄物排出量	
施工部門 <sup>(※1)</sup>	512,016t
オフィス部門	110t
計	512,126t

### 社会に創出された価値(単位:億円)



(※1): 協力会社を含めた活動に関する値  
 注: 前田建設の2012年度の活動に関する値/個別記載の数値を除き、単位は億円

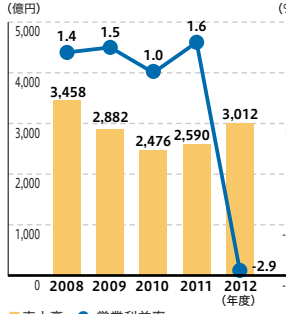
P/L(損益計算書)



主要指標経年変化

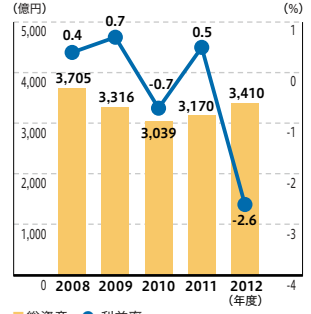
売上高営業利益率

営業利益/売上高(完工高)



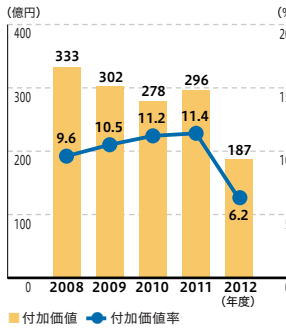
総資産純利益率

当期純利益/期中平均総資本



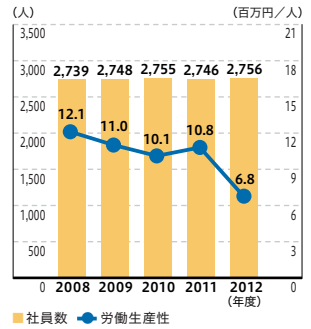
売上高付加価値率

付加価値/売上高(完工高)



労働生産性

付加価値/社員数



2013年度 地球への配当(⇒P.47)へ 30.0百万円抛出予定

前田建設が生んだ付加価値とその配分(単位:億円)

付加価値	ステークホルダー	金額	摘要
付加価値 187	投資家	12.9	株主配当金
	従業員	247.1	給与・賞与、福利厚生等
	公的機関	0.9	租税公課
	債権者	16.6	支払利息・社債利息
	社会	0.0	寄付等
	地球	0.4	地球への配当
	経営者	3.8	役員報酬
	内部留保	△99.1	内部留保
	その他	4.9	その他収支計
	外部支出 2,825	協力業者	1,510
資材供給者		1,142	延 4,956社
その他		173	その他収支計

2011年度 連結当期純利益 32億円  
⇒地球への配当  
抛出計画額 64.0百万円

- MAEDAグリーンコミット(単位:百万円)
- 全国MAEDAの森 6.8
  - MAEDAエコシステム 4.3
  - MAEDAエコスクール 7.0
  - MAEDAエコエイド 0.5
  - MAEDAエコエンジェル 17.8

- MAEDAエコポイント制度(単位:百万円)
- Me-pon 3.6

2012年度 地球への配当  
抛出総額 40.0百万円

環境保全コスト(⇒P.36)へ(該当集計分) 67.9億円

2012年度地球への配当(⇒P.47)へ(該当集計分) 0.4億円



## コーポレートレポート(マテリアルフロー)

当社の2012年度のマテリアルフローを報告します。

P.29、30で報告した価値を社会に提供するために、以下のようなマテリアルを投入しました。

その結果、発生する環境負荷を低減すべく、目標値を設定して活動を行っています。(⇒P.35)

### 投入資源

エネルギー	<b>施工*1 作業所数:302 延べ労働人員:3,664千人</b>					
	電力量	30,075 千kWh	LPG	47 t	都市ガス	7,478 m <sup>3</sup>
	(グリーン電力)	979 千kWh)	軽油	16,737 kl	水道水の使用量	232 m <sup>3</sup>
	A重油	152 kl	灯油	478 kl		
	<b>オフィス*2 拠点:41カ所 延べ労働人員:380千人</b>					
	電力量	5,136 千kWh	水	35,775 m <sup>3</sup>	軽油	11 kl
(グリーン電力)	21 千kWh)	(再利用)	2,771 m <sup>3</sup> )	灯油	6 kl	
				都市ガス	25,879 m <sup>3</sup>	

INPUT

INPUT

資材	<b>施工</b>					
	コンクリート	995 千m <sup>3</sup>	鋼材	113 千t	セメント	12 千t
	<b>★グリーン調達量</b> ●材料系 12品目   ●外装材・内装材系 7品目   ●設備系 9品目 <small>※内訳は下記「グリーン調達量一覧」参照</small>					
<b>オフィス</b>						
	用紙購入量	9,518 千枚				

### グリーン調達量一覧

#### 【材料系】(12品目)

高炉コンクリート	280,664 m <sup>3</sup>
フライアッシュコンクリート	36,292 m <sup>3</sup>
再生コンクリート	501 m <sup>3</sup>
電炉H鋼	3,293 t
電炉鋼矢板	0 t
電炉鉄筋	107,057 t
建設発生土の再利用	86,803 m <sup>3</sup>
建設汚泥から再生した処理土	4,839 m <sup>3</sup>
再生骨材等	25,033 t
再生加熱アス混合物	1,982 t
代替型枠	9,372 m <sup>2</sup>
PC材	16,685 m <sup>3</sup>

#### 【外装材・内装材系】(7品目)

Low-Eガラス	27,800 m <sup>2</sup>
複層ガラス	34,679 m <sup>2</sup>
屋上緑化	3,306 m <sup>2</sup>
壁面緑化	569 m <sup>2</sup>
再生木質ボード (パーティクルボード、 繊維板、木質系セメント板)	245,436 m <sup>2</sup>
間伐材(国産材)	201 m <sup>2</sup>
ノンフロン断熱材	733,929 m <sup>2</sup>

#### 【設備系】(9品目)

自動制御ブラインド	0 カ所
地中熱利用システム (ヒートポンプ)	56 kW
太陽光発電	3,075 kW
太陽熱利用	0 m <sup>2</sup>
風力発電	0 kW
燃料電池	0 kW
LED照明	41,523 台
EM電線	345,296 m
雨水利用設備	3 カ所

- \*1：サンプリング調査をもとに原単位を算出し、施工高を割掛けて算出しました。
- \*2：本店、支店社屋などの集計です。
- \*3：2012年度の完成工事を集計しました。
- \*4：2012年度工事(完成工事+継続工事)の数量集計です。
- \*5：地下水などを含んでいます。
- \*6：建設汚泥を含んでいます。

